

アメリカでの外国語の勉強について

とても素晴らしい外国語教育を学びたいならば、ヨーロッパの教育を見てください。ヨーロッパで、**90%**の生徒が小学校から英語を習い始めます。**53%**のヨーロッパ人は第二言語をしゃべれると言います。もし、日本で**53%**の方々が2つの言語を話せられることになったら、日本の経済、または社会へのインパクトはすごいと思いませんか？日本の会社が世界中と交流できるようになると思います。今の日本では、たった**10%**の人が2つの言語をしゃべれるそうです。

今日私は、アメリカの教育の中での外国語教育について書きます。または、アメリカの教育と日本の教育の違いについても話します。

日本と同じく、ヨーロッパと比べると、アメリカの外国語教育がかなり遅れています。アメリカの場合は、**25%**の小学校、**58%**の中学校、**91%**の高校で外国語の授業を受け



ることができます。それはとても低い数字です。それぞれの教育委員会で予算が足りなくなると、最初になくなる授業は外国語です。1997年だと**75%**のアメリカの中学校が外国語の授業がありました！

例えばですが、私の出身のサン・アントニオ市教育委員会だと高校の4年間の間、2年間は外国語を学ばないと卒業できない決まりがあります。アメリカはだいたい1~5年は小学校、6~8年は中学校、そして9~12年は高校です。日本は1~6年が小学校、7~9年は中学校、10~12年は高校です。金ヶ崎町の姉妹都市のアマーストの高校だと5つの外国語を勉強することができます。(ラテン語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、と中国語)しかし、外国語を全然勉強しなくても卒業することができます。アメリカの場合、それぞれの教育委員会がカリキュラムを決め、卒業要求のことが終われば、残りの時間で好きな授業を学べることができます。日本の大学に近いですが、それはアメリカの高校です。



もう一つの大きな違いは受験やセンター試験などがないので、先生方は文法よりコミュニケーションや話す力を高めるように教えています。日本の場合は、全ての授業の最高の目的は高校の入学試験やセンター試験を合格することです。それが無い

ので、アメリカの教え方は全く違います。最近、多くの外国語の授業で新しいテクノロジーを使って授業を学べられるようにしています。多くのクラスはスカイプ SKYPE などのソフトを使い、色々な国々の人と授業中話せる機会を提供しています。インターネットや色々なアプリを使って勉強することも最近増えてきています。

アメリカの学校で一つ以上の外国語があれば、中学校から自分が学びたい授業に入れることができます。アマーフトは5つの外国語の授業があります。4年間同じ外国語を勉強してもいいし、2つの外国語を2年間ずつ勉強してもいいし、4つの外国語を1年ずつでも OK。

アメリカの学校で一番学んでいる外国語は：

1. スペイン語	72%
2. フランス語	14%
3. ドイツ語	4.4%
4. ラテン語	2.3%
5. 日本語	0.8%
6. 中国語	0.7%
7. ロシア語	0.14%
8. その他	5.49%

これを見て、なんでだれももう使わないラテン語をこんなに勉強しているのか思っている人もいます。多く人はラテン語を学べばSAT試験や国語の授業でもっといい点数をもらえらると思っっているからです。多くの英語の言葉はラテン語から来ているので、ラテン



語が知っていたらば、国語のテストなどで知らない言葉が出たら、だいたいの意味がわかるようになると思っています。

最後にですが、アメリカの外国語教育の方法はコミュニケーションや外国語で話せる力を高めることが目的です。それはとてもいいことだと私思います。でも、外国語がない学校も多いし、毎年学ばなくてもいいことになっていますので、せっかくのいい目的があっても、ヨーロッパの学校と比べればまだまだ遅れていると思います。アメリカの外国語のアイディアはいいけど、学べるチャンスが少ないので、もったいないと思います。